

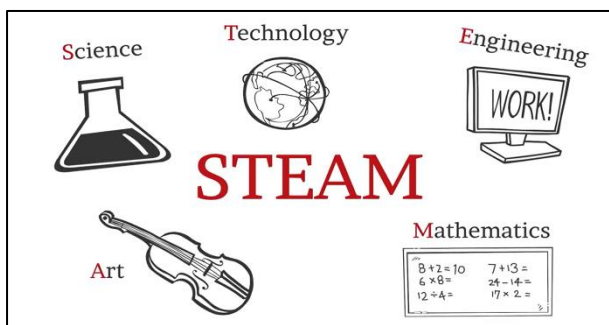
STEAM 教育

先月、今年度の懇談会が全て終了しました。保護者の皆様には、コロナ禍での開催ではありましたが感染症対策にご協力頂き、たくさんご参加下さいまして、誠に有難うございました。

懇談会を行う目的は、お子さんの園での成長を知る機会にしてほしいのと同時に、園での保育の取り組みを理解して頂き、園と家庭が同じ方向を向いてお子さんと関わっていくことが出来るようにするための機会だと考えております。

そんな中、年少の保護者より「IQ パズルってどんな活動ですか？」と、ご質問がありました。懇談会当日は、IQ パズルの説明をさせて頂きましたが、そこで出た「STEMA 教育」について、今回のコラムでご紹介します。

STEAM (スチーム) 教育。5つの頭文字をとった造語です。
この5つの要素を盛り込んだ教育手法のことを言います。



- Science (サイエンス) …科学
- Technology (テクノロジー) …技術
- Engineering (エンジニアリング) …工学
- Art (アート) …芸術・教養
- Mathematics (マスマティクス) …数学

世界のテクノロジーはどんどん進化して、AIと呼ばれる人工知能やロボットが多く社会進出しています。私達の生活の中にもスマートフォンやタブレットなどの電子機器が増えました。飲食店などの入り口では、ペッパーくんと呼ばれるロボットが予約案内をしているのを見かけたりします。この流れは今後さらに進み、今よりも多くのAIやロボットの活躍が予想されています。

日本でも、今から10~20年の間に、49%の仕事がAIやロボットが担うようになると言われていいます。つまり、私達人間の出番がどんどん減ってしまうのです。そして現時点では存在していない、AIやロボット主体の新たな職業が生まれるかもしれないのです。

(参照：野村総合研究所「AIと共存する未来～AI時代の人材～」より)

そんな時代に、今後必要となってくる人材は、変化に流されるのではなく、

『**新たな変化を生み出せる能力**』を持つ人材です。そのためにも、**新たな変化を生み出す**人材を育てるためのSTEAM教育(ものづくりに特化した科目を複合させた教育)が、取り入れられてきているのです。

私どもの法人理念は「新しい保育の創造」です。常に時代の流れを見据えながら、目の前にいる子ども達に『今』何が提供出来るかを考えています。モンテッソーリ教育を基盤として保育を行い、その他にも「IQパズル」「心育」「あるて」「ライモー」「科学の実験」「食育」「テーマ活動」「リズム表現(PUMP&ビート)」「姉妹園交流・異年齢交流」など、様々な経験の中で

『**考えられる人**』になって欲しいと願っています。

ほぼ半分の仕事をAIやロボットがこなしてくれる時代に、AIやロボットに「使われる側」の立場ではなく、「使う側」の立場になってほしいものです。

そのためにも私達大人は、子どもが考えられるような「問い」を意識し声掛けしていきたいですね。

(橋本)

ここをクリック⇒

2019年12月のコラム・・・「覚える前に考える人になろう」IQパズル導入について

ここをクリック⇒

年長児が出演している科学 YOU TUBE・・・「ぷくぷく！まるでマグマ！」